

常総市
じょうそう
市議会だより

主な記事

一般質問(8月定例会議)…………… (2)～(11)
審議された主な議案…………… (11)
8月定例会議の審議案件と結果…………… (12)
行政視察…………… (13)
11月定例会議日程…………… (14)
議長のひとこと…………… (14)

- 責任者 常総市議会議長 風野芳之
- 編集 議会だより編集委員会
- 発行 常総市議会

219号

2017.11.16
発行



いきいき茨城ゆめ国体2019
第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

8月に行われた中学生議会

一般質問

8月定例会議

9/5~9/8の4日間をわたり17人の議員が一般質問を行い、市政全般について活発な議論がなされました。ここでは、質問・答弁の要旨の一部を掲載しています。
※原則として平成の元号は省略してごまね。

3. 倉持 守
KURAMOCHI MAMORU
●水害後の常総市における人口問題について
○害虫、害鳥、害獣の被害状況とその対策について
P.4

2. 小林 剛
KOBAYASHI TAKESHI
●広域連携による公共交通について
P.3

1. 岡野 一男
OKANO KAZUO
●水海道有料道路の利用と交通体系の連携について
P.3

6. 大澤 清
OSAWA KIYOSHI
●高齢者ドライバーの運転免許自主返納について
○常総市の土地利用について
P.5

5. 寺田 洋
TERADA HIROSHI
●坂野家住宅の活用について
○雨水対策について
P.5

4. 坂野 茂実
SAKANO SHIGEMI
●児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の現状と課題について
P.4

9. 堀越 道男
HORIKOSHI MICHIO
○シルバー人材センター関係について
●水害防災について
P.7

8. 中島 亨一
NAKAJIMA RYOICHI
○市政担当1年、諸問題に対する市長の具体的な方向性
○防災計画について
○農業振興について
●工業振興について
P.6

7. 中村 博美
NAKAMURA HIROMI
●子育て支援について
P.6

12. 中村 安雄
NAKAMURA YASUO
●市民の広場の土地利用とカスミ旧店舗の跡地、その後について
○小中学校教職員の過重労働問題のその後の改善策
P.8

11. 新田 宏安
NITTA HIROYASU
●防災対策の現状と今後について
P.8

10. 石川 栄子
ISHIKAWA EIKO
●平和行政について
○引き続いて災害関連の問題について
○新生児の難聴検査について
P.7

15. 喜見山 明
KIMIYAMA AKIRA
○水海道排水機場の廃止について
●釜屋堀川周辺の農地について
P.10

14. 関 優嗣
SEKI MASASHI
●市内冠水対策について
○児童クラブについて
P.9

13. 堀越 輝子
HORIKOSHI TERUKO
○以前質問を行った、東京で大地震が発生し、常総市で被災者を受け入れる状況となった際の農家との連携について
●市長が公約に掲げていた、常総線の活性化とつくばエクスプレスの相互乗り入れや、電化の状況について
P.9

17. 茂田 信三
SHIGETA SHINZO
●入札の件について
○道の駅計画について
P.11

16. 遠藤 正信
ENDO MASANOBU
●人口減少対策について
○関東・東北豪雨災害から2年、常総市地域防災計画について
P.10

ずばり
市政を問う!!

・質問事項を通告順に記載しています。●が今回掲載した質問で、本文中の固有名詞は、質問議員の意向により掲載しております。

応分の負担は当然

水海道有料道路の利用と交通体系の連携について



議員 今年6月から水海道有料道路が朝の時間帯において無料化された。この6月以前と以後の通行量の変化があったと思うが、その数値を教えてください。
都市建設部長 無料措置実施前の5月と比較して、2・58倍、台数でいうと704台から1817台に増加し、交通量増加に貢献できた。周辺道路の影響については、10月に再度調査を実施、効果検証を行う考えである。

議員

台数が増えてきたということは、豊水橋、美妻橋の渋滞緩和につながり、近隣市町村の市民も利益を受けていることにもなる。市の単独の予算で無料化することは税金の公平な分配という観点からも私自身大変疑問であり、その応分の負担は当然と思うがいかがか。

都市建設部長

広域的な見地から、つくば市、坂東市、つくばみらい市など近隣自治体と負担割合などを協議し、協力を願う考えである。

議員

過去に2回ほど社会実験として無料化を行ったが、今回も実施にあたり坂東市と協議をしたと思うが、その経緯を伺いたい。

都市計画課長

坂東市では、今年度実施についての協力は得られなかった。

議員

この事業は市民から好評があり、償還期限の今後10年間、他の市の協力が得られなくても、実施していくのか。

市長

来年度以降の実施については、議会の意見を受け止め、市民の意向、関係市町村との交渉などを含め、考えていきたい。

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問

広域連携で相互のメリットを

広域連携による公共交通について



議員 守谷駅直行坂東号バスの路線と連携することで、相互にメリットが生じる。協議すべきと思うがいかがか。
総務部長 議員より提案があった、常総市内に停留所の設置が実現できれば、守谷市と坂東市との公共交通ネットワークが確立され、市民生活の利便性の向上が期待される。また、市内外から多くの方が訪れるあすなろの里入り口などへ停留所が設置できれば、

今以上の来園者も期待できるほか、広域連携の観点からも様々な分野への波及効果が生まれる。実現に向けて運行時間などの課題が多くあるが、坂東市と協議を行い、連携の可能性を積極的に図っていきたい。

議員

以前は、高速バスがあすなろの入り口で停車していたが、それも無くなった。あすなろの里は、安くて子ども達も一緒に遊べるということで、都内からつくばエクスプレスを利用し、来園する方が多くなった。しかし、あすなろの里までの移動手段が難しい。坂東市の担当課と話しをしたが、この路線は乗降客はそれほど多くはないが、バス停を作ることにし、乗る人が増え、収益も上がり双方にメリットがあると感じた。あとは各部署でこれを交渉していけばうまくいくと思っている。1回、2回協議して駄目なら、最後は首長が話しに行く。坂東市とすぐに行政経営課長

行政経営課長

早速、坂東市に伺い、協議させていただく。

議員

早速ということ、明日にも行ってもらいたい。

市に早く戻れるよう支援を

水害後の常総市における人口問題について



は、少子高齢化と核家族化が進んでいることや単身世帯が増えていると思われる。

議員

先の災害で被災し、公的住宅などアパートに住んでいる世帯数と人数、また絆再生補助金の申請数とまだまだ市内に戻れない方は現時点で何人いるか。

保健福祉部長

現在、45世帯の112人であり、うち35世帯は、市内外に住居が決まっている。残り10世帯は民間のアパートなどの方向性だが決まっていない。また、絆再生補助金の申請数は36世帯である。

議員

戻れない方に対して、今後どのような政策をとっていくのか。

保健福祉部長

今後民間のアパートやその他の生活支援制度の紹介をしながら、なるべく早く住居が決まるように支援していく。

議員

いきいき住マイル支援補助金の申請は現在12世帯あるとの話だが、その方々は市街化区域への転入と思われるが、今後この制度も活用しながら住居区域を広げ、区域指定の拡大も図れるよう強く要望する。

市民生活部長

過去5年間を比較すると、24年度末と29年度末の人口の差は、2065人減少している。世帯数は、759世帯が増加。要因

常総市の人口は合併して以来、人口減少が進んでいる。関東・東北豪雨災害後さらに人口減少が加速した。この経過のなかで約5000人近くが減少しているものの、世帯数は災害前に戻っている。ここ5年間の人口と世帯数の数値と増加要因について伺いたい。

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問

子育て世代に必要な制度

児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の現状と課題について



対象外となる部分でも一部認められる内容と思うかがか。

保健福祉部長

対象外となった家庭でも、家庭の状況などを確認し、再申請の結果、可とした判定もある。

議員

運営指針で定数は概ね40人以下と規定されているが、定数60人や70人とあるのはどのような理由からか。

保健福祉部長

1単位、一施設40名以下および1人当たり1・65㎡の確保が条件であるが、現在31年度までの経過措置期間中で、条件が猶予されている。

議員

満了までには、基準に沿った整備を進め、子どもたちが安心して過ごせる環境を整備していただきたい。次に今後の課題は。

保健福祉部長

一部の方から朝夕の時間外保育の要望もあり、民間では有料で実施しているため、市でも有料化を視野に審議していきたい。

議員

児童クラブは、働く子育て世代にとって必要不可欠な制度であり、税の公平性を鑑み、希望されるすべての家庭が利用できるよう進めていただきたい。

今年度から指定管理者制度に移行した放課後児童クラブの現状について伺う。

議員

放課後や休日に、保護者が就労や介護などで適切な支援を受けることができない児童を、現在公設・民間を含めて19施設あり、児童の健全な育成を図ることを目的に運営している。

保健福祉部長

議員

未開設の学区については、計画的に開設を強く要望する。また、申請案内の利用資格では、

議員

その際、坂野家住宅には休憩

10月にはお月見と音楽のつどいを開催する。

教育部長

利用状況は4月から7月までの入館者数が、4204人でド

議員

文化財で食事や休憩を

坂野家住宅の活用について



教育部長

所もない、自販機もない。そのような不満を聞くが、どのように感じているか。

そのような声を入館者の方からも聞いている。休憩所については長イスを置く方向でいる。自販機については、景観上問題がないかなど県に確認しながら設置の方向で検討する。

議員

「文化財改修、市町村へ権限」という新聞記事が掲載された。今後、国の重要文化財の管理を市へ移管するとした文化財保護法改正方針ができ、最終的には市で決定できるようになる。このことについて伺う。

教育部長

改正方針を踏まえ、市の責任が重くなる一方で、活用の幅が広がる。現時点では国、県からの通知はないが、情報収集に努め、国、県と調整のうえ活用に向け、劣化した部分の早期改修を行う考えである。

議員

文化財などの坂野家住宅にフレンチかイタリアンレストランができれば、今後、市のPRになり発展にもつながる。是非検討をお願いします。

□ 殿 園 圃 JOSOSHIGIKAIDAYORI JOSOSHIGIKAIDAYORI JOSOSHIGIKAIDAYORI JOSOSHIGIKAIDAYORI □ 殿 園 圃

寺田 洋議員

交通弱者に支援を！

高齢者ドライバーの運転免許自主返納について



議員

昨年の11月にも質問した、高齢者ドライバーの運転免許自主返納について、返納者への当市の支援について伺いたい。

経済環境部長

運転免許証を自主返納される高齢者の皆さんに、市の予約型乗合交通ふれあい号の利用券2万円分を交付することにより、免許返納後の交通手段を確保していただき、運転に不安を覚える高齢者の皆さんの運転免許証の自主返納を促し、事故防止、交通の安全を確保するため29年

議員

度市一般会計補正予算に、高齢者運転免許自主返納支援事業として、必要な費用を計上させていた。いただいた。

生活環境課長

来月1月から事業スタートする予定ということだが、なぜ予約型乗合交通ふれあい号を選択したのか聞きたい。個人的には市内に事業所を置く民間タクシー業者における初乗り運賃の助成と想像していた。理由としては、予約型乗合交通ふれあい号は市内だけの行動範囲にとどまること。一般のタクシーの場合、市外への病院も通えるし買い物にも適している。さらには、予約型乗合交通ふれあい号は予約に手間がかかるかと、月曜日から金曜日の一定時間でしか利用できないのがいかがが。

議員

市から交付するため、なるべく市内で使って欲しいとの考えと市街の活性化のために利用していただきたいとの考えである。

大澤 清議員

安心して子育てができる市に

子育て支援について



事業が4つに分類され、市が認可を行うことで公費の給付対象となる。市でも家庭的保育事業所として1カ所認可している。待機児童解消として0歳児から2歳児の受入れ枠が増え、量の拡充となっている。質の向上としては、幼稚園や保育所、認定こども園などの職員の処遇や配置の改善などがある。

議員

現在の待機児童数を年齢別に尋ねる。

こども課長

29年4月時点で、0歳児1名、1歳児2名の3名である。

議員

市では一つしかない家庭的保育事業所を増やしてもらいたい。また、国、県の制度にある子育て支援員とはどのようなものか。

保健福祉部長

家庭的保育や小規模保育施設、放課後児童クラブ、地域子育て支援センターなどの分野での職場で活躍することが期待される。

議員

市で活躍する介護予防員のよう子育て支援員を養成してもらい、職員のサポート、子どもを産む人、子育てをする方が安心できる市でありたい。是非養成を実現して欲しい。

保健福祉部長

地域の実情に応じて認定こども園の普及を図るとともに、新たに地域型保育が創設された。地域型保育では、これまで認可外であった定員19名以下の保育

議員

市の出産祝金、そして産前産後の子育て支援の充実や子育てに充分に理解が整った企業がある常総市なら、住み続けてくれる人は増えるのではないか。27年4月にスタートした、子ども・子育て支援制度の現在の取り組みを具体的に尋ねる。

誇れる工業振興策を！

工業振興について



く、工業団地内の環境整備や地元雇用の促進として補助制度の活用など、継続して操業してもらうための支援を行っている。また「常総市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略」に基づき、産業用地を新たに確保し、企業誘致と一層の振興を図っていききたい。

議員

工業団地に空きがないのに、企業誘致に努めるといっても、どこに企業を誘致するのか。

市長

今ある4つの工業団地では足りない。圏央道の効果による企業からの立地の声に対し体制ができていない。具体的な目標設定や就労ニーズ、どのように財源を獲得するか、来年度にこの専門プロジェクトを作っていくたい。

議員

労働者をいかに確保するか、ブランド同様で情報発信力、市をいかに売り込んでいくか、みんなの目に、色々な人の目につかせること、そういうことをやって初めて常総という名前が売れる。水害だけで売れていてもしょうがない。すばらしい常総市をという思いで頑張っていたきたい。

経済環境部長

首都圏からのアクセスが良いことから、工業団地に空きがな

議員

工業生産高県内8位は本当に誇れるのか。前市長が工業製品生産額が8番目ですごいと言っていたが、何年間も8番目である。誇っていいと思うが、それに甘んじていいのか。もっと市民の生活を楽にする、税収を上げる、そのために何をやるか、しっかりとした工業振興対策を打っていかなくてはならないと思うが、市の考えは。

絶対大丈夫という安心

水害防災について



うシミュレーションにより予測したもの聞いています。

議員 逃げるマップをつくり、逃げ遅れゼロということやっていくが、なぜ住民だけに負担をかけるのか。そうではなく、これだけの流量があっても大丈夫だという数値を広く市民に知らせていくのが当り前じゃないかと思うがどうか。

道路建設課長

河川整備計画に記載する数値は、概ね30年を目安にした計画で、流量や雨の多さに応じて随時見直しすると記載がある。

市長

先の災害と同じものが来た場合でも堤防を越すことがない鬼怒川緊急対策プロジェクトというふうを確認している。計画高より超えた場合、溢水した場合、経過時間など、その数値をもとに計算したうえで、のマイタイムラインであり、市民への周知と危機感、備えをすることが最大の策と考える。

議員

今後、改めて要求するところだが、数値の問題は市民が安心できて、みんな考えて、災害に対する探究するというのが求められていると思う。

都市建設部長

国土交通省で確認したところ、堤防整備のほか、河川掘削などを実施し、先の災害と同規模の流量を想定し、災害発生防止、軽減を図るといふものである。一方、電柱に記した水位については、想定最大規模の降雨に伴

議員

今は線状降水帯が当たり前になってきており、今の鬼怒川緊急対策プロジェクトで施工する高さの堤防で果たしてカバーできるんですかということ。絶対に大丈夫という安心を知りたい。

平和首長会議の一員として

平和行政について



など、諸問題の解決と世界の恒久平和の実現に向けて加盟都市と連携を図り、平和運動の推進に取り組みたい。

市長

平和首長会議の一員として、世界の恒久平和、これは誰もが望むところであるので、しっかりと取り組んでいきたい。

議員

平和首長会議の一員として、今の北朝鮮の動きに対して、何らかの意見なり出すべきだと思ふ。市議会としても、意見書なり決議なりを上げたいと思っている。また、公室長から答弁があった非核平和都市宣言の幕を掲げていただいた。この宣言文を広報に掲載して欲しい。

市長公室長

掲載文章については、確認をし、市民への啓発を図る意味でも掲載したいと考える。

議員

7月に国連で、核兵器の使用や開発を違法とする核兵器禁止条約が採択された。非核平和都市宣言の精神にのっとり、庁舎ロビーに「被爆者国際署名」を置いていただきたい。

秘書課長

庁舎管理の関係部署と協議し、進める方向で検討したい。

市長公室長

8月29日に朝6時頃、けたたしく鳴る携帯、防災無線のサイレン、北朝鮮からミサイルが発射され、さらに9月3日には、核実験を強行した。特に近い日本や韓国の平和と安定にとつて重大な脅威である。平和を脅かす動きのある中で、平和首長会議の一員としての役割を伺いたい。

議員

同会議の目的でもある、核兵器の廃絶の市民意識を喚起し、人類の共存を脅かす飢餓や貧困



堀越 道男 議員

石川 栄子 議員

防災先進都市の行方

防災対策の現状と今後について



を目指すなかで避難所や防災拠点の整備についても協議していく。また市民からの通報、道路パトロールにより情報収集を行い、危険箇所などの把握に努めている。状況に応じ、通行止めなどの対策を講じている。今年度、冊子型の防災手引きを作成し、全戸配布予定である。

議員

議会のなかでも避難所の建設という提言もあり、現状2年が経過し、予算もないし様々な課題もあるが、そのままでもいいのかと。常総未来創生プランの観点からも整合性がどうなのか。

市長公室長

避難所は大変重要である。先の水害の教訓を踏まえ、周辺自治体との連携を強化し、河川の氾濫、大地震なども想定した広域避難の体制に取り組んでいる。

議員

全国のモデルとなるような防災先進都市を目指すということ、防災と環境保全、それを重視したまちづくりである。市が考える防災の範囲はどこまでの範囲としているか。

防災危機管理課長

風水害から地震、人為的な事件事故での危機管理という意味で市の対応を定めている。

議員
水害から丸2年が経過し、市の防災対策の現状を再確認したい。避難所の建設計画、防災、減災という観点から調査、把握、パトロールなどの実施や市民への周知、注意喚起をどのように行っているのか伺う。

市長公室長

市では、小中学校や体育館など公共施設28カ所を一時避難所に指定している。避難所の建設計画は現時点ではないが、水害以降さまざまな意見、要望を受けており、今後、防災先進都市

□ 殿 園 圃 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 園 圃

市が誇れる場所になる

市民の広場の土地利用とカスミ旧店舗の跡地、その後について



副市長

現在のカスミ水海道栄町店のオープンに伴い、カスミ諏訪町店舗が撤退する旨、当時の市長に連絡があった。その中で市は水海道公民館を移設して、諏訪町店の跡地を市民の広場として活用することにより、中心市街地の核とした旨、話しをしていく。一方、カスミ側は市に全面的に協力し公民館を移設した場合、その跡地をカスミの駐車場に利用するなどの内容で、両者が確認している。その後、協議を重ねたが、先の水害により災害業務が主となるなどの理由から現在に至っている。私が引き継ぎ、内容の整合性を確認し、5月にプロジェクトチームを立ち上げ、課題の整理や今後について4回の会議を実施した。特に公民館付属施設の武道館が文化財施設であることから、登録解除が大きな課題であり、解決できれば議会にお示ししたい。

議員

難しい点も色々あるが、今のまま放置するのは許されない事態。人が寄れば、当然これは必要になってくる。行政側も積極的に考えを出して、議会に報告をしていただきたい。

常総線の活性化が市の発展に

市長が公約に掲げていた常総線の活性化とつくばエクスプレスの相互乗り入れや電化の状況について



には、常総線活性化支援協議会を立ち上げ、地域の発展に向けた活動などを推進してきた。しかし、期成同盟会は解散し、現在は協議会が利用促進事業を継続し、活動は沿線自治体のPRなどに移行している。神達市長の就任後、沿線自治体5市長と検討会を行い、連携のもと方向性を含め、スピード感を持って進めていく。

議員

自分も親しんできた常総線で、鉄道の駅があるなしではその土地の地価も変わっていく。その地域の経済力の評価にもつながってくる。このようなことから電化や相互乗り入れという施策をどんどん進めていただき、地域の活性化につなげていただきたい。また守谷市の理解と協力を得て、早期実現に向けて連携をとっていただきたい。市長にこの公約の思いを聞きたい。

市長

7年前、県議になった時からこの公約であり、県議会でも再三再四質問し研究を重ねてきた。人口減少や鉄道配線などの危機感から、この課題にライフワークとして進めている。今後は沿線自治体一体となった運動で、経済界も含め展開していきたい。

総務部長

平成3年に沿線自治体の首長、議長、県議、商工会長などで構成される常総地域振興促進期成同盟会を設立し、電化や乗り入れについて議論してきた。17年

議員

以前、中学生議会でも子ども達が高い興味を示して質問を行ったように、これは世代を超えて関心の高い内容である。この公約について、どのような準備を進められているのか、現在の進捗状況を尋ねる。

連携してスピーディな対応を

市内冠水対策について



報や道路パトロールにより情報収集を行い、状況に応じ通行止めなどの措置を実施している。

議員

その原因となる現象が確認され、水が引いた後で上流、下流周辺の付随する設備についての対策や点検、巡視というのも行っているのか。

道路維持課長

水が溜まるのも早いですが、引くのも早い。このような現状であり、当課では、側溝の汚泥の滞留状況、勾配の状況などの調査をし、それに合わせて順次対応している。今後、全体計画などを作成していくのが最善と考える。

議員

一部分の勾配を解消しても、流れの全体を見ないとまた発生する可能性があり、基本は下流からが原則である。この冠水問題だけでなく、役所に寄せられるさまざまな要望など、一つの課だけで解決できず、横ぐしを通してスピーディに、より確実に解決できるように形をとっていただきたい。

都市建設部長

一課では対応しきれない事案もあり、市長の指示にもある、横の連携を密に進めていきたい。

都市建設部長

市内においても、台風や局地的な集中豪雨など短時間に雨量が増加し、道路の排水機能が追いつかず、降水状況にもよるが市内には20カ所以上の冠水箇所が存在している。市民からの通

議員

昨今、市内に限らずさまざまな地域において、以前には想定できなかった災害などが取り上げられる時代になった。市内においても冠水の問題が発生している現状で、市内冠水箇所と把握状況と対応を聞きたい。

堀越 輝子 議員

関 優嗣 議員

釜屋堀川周辺の農地を含む、鬼怒川の東側についても、広範囲

経済環境部長

釜屋堀川周辺の農地について、江連八間土地改良区では、橋本町、きぬ医師会からの八間堀川沿岸から全部南の農地は今後管理しないということ、理事会で決まった。このことについて答弁を求めます。

議員

土地改良区と話し合いを！

釜屋堀川周辺の農地について



喜見山 明 議員

に浸水の被害を受けた。被災した農地は受益地となっており、土地改良区や市が主体となり、国の補助を受け、復旧したところである。今後も地元の維持管理組合が管理している水路などの修繕に必要な補助を行い、営農に支障がないよう対応していきたい。

議員

大生、水海道地区の維持管理組合でも、負担金を納めていて、お金が足りないので補助金で施設などが壊れた場合は修理している。維持管理に力があれば、江連八間土地改良区に負担金を納める必要もない。広大な農地を農家の維持管理組合の費用で管理できる状態ではない。私から全部一方的に話しているが、市民が大変なことになっている。市側が江連八間土地改良区と決裂しても、市でやるからという考えと維持管理費を払っている以上、払う側がきちんと言うべきだと思ふ。また、水海道はどうなっても構わないという考えだと私は思う。市民にも、市が全面的に面倒を見てくれるなら、土地改良はどうでもいい。市側にきちんと申し出をしてくれとお願ひされた。早急にこれを解決し、報告していただきたい。

□ 殿 園 圃 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 園 圃

出生数が死亡者数を下回る自然減と転入者数が転出者数を下回る社会減の二つが要因であり、市の人口では社会減が上回っている。災害の影響も多少あるが、19年から世帯数は上昇している

市民生活部長

26年1月の住民基本台帳によると、全国の総人口は1億2843万8348人という統計がでている。21年をピークに毎年連続で減少しているのが現状であるが、過去10年における市の人口推移について尋ねる。

議員

定住人口増を目指して

人口減少対策について



遠藤 正信 議員

のが現状である。全国平均を見てもその数値は市とほぼ変わらない。地方創生で国も試みているが、なかなか現実が伴わないのが現状である。市の定住人口を促進するにはどのような考えがあるか、新築する場合は補助といった先進事例をどう捉えているか。

議員

総務部長

昨年6月にまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、新しい人のながれをつくる施策や子育て支援などさまざまな人口減少対策を位置付けている。具体的には、若年夫婦世帯および子育て世帯の住宅取得や改修、3世代同居や近居を支援するため、いきいき住マイル支援補助金を行っている。また、復興のシンボルとして豊田城のリニューアル、新たな総合計画である常総未来創生プランを策定し、安定的な定住促進策を推進していく。

議員

将来的な総合計画は10年前で前期5年と説明を受けたが、常総市には他の地域にはない、すばらしいものがある。何とか人口増になるよう、定住人口を多くしていく形になるよう推進していただきたい。

総務部長
事後公表の方式では、規定の入札回数において予定価格に達しないなどの不落不調、適正工

議員
予定価格の事前公表は何故やめないのか。また、新井土木株が、市発注の下水道工事で落札するという電話による情報があり、結果まさしくそのとおりであった。この工事では、5力年の落札状況においても不自然と思われる結果が見られた。このような不適切な情報があった場合の対応を伺う。

予定価格の公表は絶対にやめろ！

入札の件について



期の確保ができないという問題が発生した。また、電子入札の導入に合わせ一部の案件を段階的に事前・事後公表の方式を併用し、26年4月からすべての案件が事前公表となった。予定価格と設計図を参加者全員に公表することにより、それを上限に落札するため、他社よりも安く入札しようと努力するので、競争原理がはたらくと考える。事前公表の適否については、十分検討し、適切な対応を行う。

議員
前の総務部長の答弁では、予定価格を公表しないと、職員が入札価格を漏洩する恐れがあるということ。職員のモラルはないのか。競争の原理がはたらくというが、ほとんどが満額に近い落札である。建設業者へ余分に儲けさせる理由があるのか。効率の良い入札制度では差額を他に当てられる。この情報に関して副市長に確認したところ、業者への事情聴取、警察への届出を行ったとのこと。別に電話があったから100%談合だとは言えないが、真摯に受け止めてはダメではないか。我々の税金を無駄にすべきでない。競争原理を働かせるためにも、予定価格は絶対に公表してはならない。

□ 般 質 問 JOSOSHIGIKAYORIJOSOSHIGIKAYORIJOSOSHIGIKAYORIJOSOSHIGIKAYORI □ 般 質 問

審議結果

平成29年8月定例会議

29年常総市議会8月定例会議が、8月30日から9月21日までの23日間の日程で開かれました。

今定例会議には、29年度一般会計補正予算を含む議案9件及び決算認定9件を市長が提出。初日の本会議で提案理由の説明があり、後日、議案質疑を行い、各常任委員会、予算特別委員会及び決算特別委員会に付託され、各委員会（分科会）において詳細に審議がなされました。

最終定例日には、市長から追加議案6件（人事案件）、議員提出議案3件（意見書）が提出され、採決の結果、議案11件、認定9件、推薦3件がそれぞれ原案のとおり可決・認定・同意・推薦されました。また、請願2件、陳情2件が採択されました。

審議された主な議案は次のとおりです。

認定第1号

平成28年度常総市一般会計歳入歳出決算認定について

28年度一般会計決算は、293

億4484万5611円の収入済額に対し、支出済額は、280億7551万8420円。差し引き残額12億6932万7191円から繰越明許費等を2億4313万円を引いた10億2619万7191円を29年度に繰り越しました。

議案第33号

平成29年度常総市一般会計補正予算（第2号）

この補正予算の総額は、9億6229万3千円の増額。主な内容は、内守谷工業団地内排水路整備事業及び地域防災計画改定支援業務委託料で、事業期間が2力年に及ぶことから、継続費を設定するものや、来年度から玉学校給食センターの調理等業務を民間事業者へ委託するなどの事業を予算計上しました。

議案第35号

財産の取得について

火災等の各種災害に対応するため、経年劣化した消防ポンプ車2台を計画的に更新するものです。このことにより、市民生活の安心・安全を確保でき、今後も消防体制の充実強化を図ります。

○：賛成 ×：反対 棄：棄権

議案番号	議案名	関	大	坂	寺	堀	小	新	倉	坂	中	岡	遠	中	茂	喜	石	水	堀	風	審	
		優	澤	野	田	越	林	田	持	卷	村	野	藤	島	田	見	川	野	中	堀	野	議
		嗣	清	茂	洋	輝	剛	宏	守	文	博	一	正	亨	信	山	栄	昇	安	道	芳	果
議案第31号	常総市議会の議決すべき事件を定める条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第32号	常総市復興計画策定委員会設置条例を廃止する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第33号	平成29年度常総市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第34号	平成29年度常総市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	財産取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第36号	教育予算の拡充を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄	○	○	○	○	○	○	可決
議案第37号	種子法廃止に伴う万全の対策を求める意見書提出について	×	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	可決
議案第38号	北朝鮮による弾道ミサイルの発射及び核実験に対する日本国政府の対応に関する意見書提出について	棄	棄	○	○	棄	○	○	○	棄	○	○	棄	棄	○	○	×	○	○	○	○	可決
議案第39号	常総市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて(慶野好子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第40号	常総市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(荻根文江氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第41号	常総市政治倫理審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて(市長推薦5人、議会推薦5人計10人)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
認定第1号	平成28年度常総市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
認定第2号	平成28年度常総市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	同意
認定第3号	平成28年度常総市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	同意
認定第4号	平成28年度常総市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
認定第5号	平成28年度常総市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
認定第6号	平成28年度常総市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
認定第7号	平成28年度常総市大生郷特定公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
認定第8号	平成28年度常総市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
認定第9号	平成28年度常総市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
推薦第3号	人権擁護委員の推薦について(新井啓子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
推薦第3号	人権擁護委員の推薦について(飯村一枝氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
推薦第4号	人権擁護委員の推薦について(原田君枝氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
請願第1号	坂手町野口地区内の道路整備に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願第3号	種子法廃止に伴う万全の対策を求める請願	×	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第1号	教育予算の拡充を求める陳情(平成29年)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第3号	教育予算の拡充を求める陳情(平成28年)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

※議長は採決に加わらない

常任委員会行政視察報告

総務委員会

10月4日～6日

福島県郡山市

シティプロモーション事業について



▲「魅力あるまちづくり」というイメージで認知度の向上を図るために様々な事例について視察を行いました。

宮城県東松島市

婚活事業プロジェクトについて



▲定住化促進を図るうえで、欠かせない婚活について、被災地復興も兼ねた先進事例の視察を行いました。

文教厚生委員会

9月27日～29日

山形県東根市

子育て支援について



▲「子育てするなら東根市」をキャッチフレーズに先駆的な子育て支援策や遊育施設を整備する先進地視察を行いました。

山形県新庄市

小中一貫校について



▲9年間の一貫教育における、発達段階に分けた独自の教育指導や学習方法について視察を行いました。

建設経済委員会

9月30日～10月1日

兵庫県姫路市

相互観光交流について



▲常総IC周辺整備事業と関連性が高い地場産の米粉を使った、6次産業施設の視察も行いました。



▲市にゆかりのある千姫をPRした観光事業の促進について視察を行いました。

市議会常任委員会は、次のとおり視察研修を行いました。

過去の会議録が

みられます

過去の市議会会議録は市ホームページから入ることが出来ます。ぜひご利用ください。アクセス方法は次のとおりです。

○市ホームページ内「常総市議会」↓「常総市議会会議録」をクリックしてください。
市ホームページURL
(<http://www.city.joso.lg.jp/>)

議会の傍聴ができます

議会の傍聴を希望される方は、市役所議会棟3階議場廊下に備え付けの傍聴券交付依頼書（傍聴券控え）を記入し、議場入り口で係員へお渡しください。引換に傍聴券が発行されます。

議会を傍聴する

ときのお願ひ

発行された、傍聴券裏面に記載されている傍聴規則を守り、会議の進行を妨げないよう、係員の指示に従ってお静かに傍聴願ひます。

なお、傍聴規則に違反する行為があり、係員の指示に従っていただけない場合、退場をお願いすることもあります。

インターネット映像配信中!!

本会議の生中継(LIVE)をインターネットでご覧いただけます。生中継を見られない場合でも、録画映像(VOD)をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

詳しくは映像配信ページをご覧ください。

<http://www.josocity.stream.jfit.co.jp/>

スマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。



QRコード

【アクセス方法】

市ホームページ
↓
常総市議会
↓
議会映像配信



議長のひとこと

当市議会は、ネットワーク配信による議会中継を行っており、開かれた分かりやすい議会を目指しております。この広報紙も一人でも多くの市民に議会を知っていただきたいとの願いのもと、日々研究・検討しております。様々なご意見等もありますが、議会としての役割をしっかりと果たし、今後も市民の付託に応えてまいります。



常総市議会議長 風野芳之

11月定例会議日程(予定)

11月29日(水)	第13回会議(本会議)
12月5日(火)	第14回会議(本会議)
12月6日(水)	第15回会議(本会議)
12月7日(木)	第16回会議(本会議)
12月8日(金)	第17回会議(本会議)
12月11日(月)	予算特別委員会
12月12日(火)	常任委員会
12月13日(水)	常任委員会
12月15日(金)	第18回会議(本会議)

※正式な日程は11月下旬に開催される議会運営委員会で決定されます。

編集後記

議会だより編集委員会では、11月2日に埼玉県三芳町で視察研修を行いました。三芳町では、先進地とあって議会、たよりの編纂方法や編集議員の役割が確立されており、大変参考になる取り組みでした。また、広報みよしの見せ方やコツといったノウハウはとても斬新でした。この研修を受けて、今後紙面にいかせるよう私たちも更に努力が必要だと痛感しました。



堀越 輝子

議会だより編集委員会

・委員長
・副委員長
・委員

倉持 守
堀越 輝子
関 優嗣
大澤 清
坂野 茂実